

第3回子ども・子育て会議 議事録（要約版）

会議名	平成26年度 第3回南島原市子ども・子育て会議
日時	平成26年11月12日（水） 19:30～21:10
場所	南島原市役所有家庁舎3階会議室
出席委員	12名

議題説明内容	意見・質問等	事務局回答
<p>①南島原市子ども・子育て支援事業計画（素案）について</p> <p>-----</p> <p>●第1章から第4章までの章立て</p> <p>●第1章 「計画の概要」</p> <p>1 計画策定の背景及び趣旨</p> <p>2 計画の性格と位置づけ</p> <p>3 計画の期間</p> <p>4 計画の基本的視点</p> <p>5 計画の基本理念</p> <p>6 計画の基本目標</p> <p>7 計画の策定体制</p> <p>●第2章 「子どもと子育て家庭を取り巻く現状」</p> <p>これは統計的なデータ、あるいは市で保有している各種サービスの利用実績のデータを取りまとめて、南島原市の現状という形で記</p>	<p>◎パブリックコメントをすることだが、市民への講演会などはしないのか。</p> <p>◎チラシはリーフレットのような形になるのか、また配布時期はいつごろか。</p> <p>◎パブリックコメントは広報誌でとなるのか。</p>	<p>現在、国の保育料の基準等もまだ決まっていない状況です。そういう中で、来年の1月から入園の募集をします。募集をするからには、保育料などを示す必要がありますので、市民の皆さんへは、チラシ等でお知らせをしたいと考えております。その他、募集の方法等については、各保育園へお知らせをしていきます。</p> <p>枚数とかはまだ未定ですが、わかりやすい形で作成します。配布の時期は12月を予定しております。</p> <p>計画（案）を広報誌に載せることは量的にできませんので、パブリックコメントを実施しますということ載せることとなります。</p>

載。

- 1 人口等の動向
- 2 就労環境
- 3 子育て支援サービス等の現状
- 4 アンケート調査結果から見た子育て支援ニーズ

●第3章 「計画の内容」

- 1 教育・保育提供区域の設定
- 2 教育・保育の量の見込みと提供体制の確保
- 3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保
- 4 子ども・子育て支援給付に係る教育・保育の一体的提供やその推進体制の確保
- 5 産後・育児休業後における施設・事業の円滑な利用の確保
- 6 安全・安心な妊娠・出産・子育てと子どもの健やかな成長に向けた取り組み
- 7 仕事と生活の調和の実現に向けた取り組み
- 8 子どもに関する専門的な知識及び技術を要する支援に関する県が行う施策との連携

*25 ページに「教育・保育区域の設定」として

◎実際に保護者から、「新制度はどうなっているの」と聴かれることがある。保護者の方も不安になっておられるようだ。

先日、保育会主催の行政との打合せがあり、制度の説明をしました。各園でも独自に勉強しておられることと思います。保育会では、12月9日に長崎から講師を招いて保育士向けの新制度の説明会を予定されています。

12月に各園に対しチラシ等の説明をする予定です。保護者は園に聞かれることが多いため、チラシによって説明をしていただく予定です。

記載

*国の基本指針では、市町村は教育・保育を提供する単位として、地理的条件や社会的条件、教育・保育を提供するための施設の整備状況等を総合的に勘案し、教育・保育提供区域を設定することとされている。

*本市では、8町が合併した後、実際の通園状況を勘案して、これを細かく分けるということとは適当ではないと判断。

*南島原市全域を一つの区域とする。

●第4章 「計画の実現のために」

本計画の推進にあたって、市では各関係機関と連携し、総合的かつ計画的に施策を実施していくこと。

また、専門性の高い施策及び複数の市町村にまたがる広域的な対応が必要な施策については、県が策定する子ども・子育て支援事業計画やその他の方針等に基づき、必要に応じて県の協力を受けながら推進を図っていくこと。

進捗状況の点検と評価・公表については、毎年進捗状況を把握・点検し、「南島原市子ども・子育て会議」において、その内容について評価を行う。併せて、計画の進捗状況については、市ホームページ等で公表を行い、市民への周知を図っていく。

<p>また、本計画の記載内容について、特に第3章における教育・保育や地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」及び「確保方策」に関しては、国の制度や市内施設の状況の変化に伴い、大きく変動することも想定されることから、必要に応じて見直しを行うこと。</p> <p>今後、この素案については、追加及び見直し等を行い、再度皆さんに提示して協議いただきたい。</p>		
<p>②利用者負担額について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●来年度から、パートタイム勤務を想定した短時間保育や幼稚園部分も制度に入ってくる。 ●その関係から、保育料がいくつにも分かれて設定されることになっていることから、市としてこの保育料を決定していく必要がある。 ●保育園の保育料として、3歳未満児の保育料と3歳以上児の保育料を示している。 ●パターン①は国の基準どおりの額。 ●パターン②は、島原市と雲仙市の保育料の平均額。 ●パターン③は今の南島原市の現行の保育料を採用した額。 	<p>◎幼稚園の保育料で、市としてはパターン③ということだが、これは公立の幼稚園も同じということか。</p> <p>◎保育料の階層が保育園では8階層、幼稚園では5階層となっていますが、国の基準がこうなっているので仕方がないが、理想を言えば、この階層も統一してもらいたいところです。</p>	<p>公立も私立も同じ額で考えております。</p> <p>保育園と幼稚園の階層を統一しようと試みては見ましたが、そうすると階層が10階層となります。階層が増えることによって、市の負担額も大きく増えることになり、現時点では階層を増やすことは考えておりません。今後、国の基準が見直されることを期待して、今回はそれぞれ別の階層としております。</p> <p>また、この保育料の額が確定するのは3月になりますが、入園の募集をするために、とりあえず保育料の案として示した上で募集をすることにし</p>

たいと考えております。

●なお、島原市と雲仙市もまだ未確定の額。

●市としては、今のところ、パターン③を採用したい。

●階層区分の定義で、第3階層48,600円未満というのは、市民税の額。従来は所得税の額だったが、新年度からは市民税の税額によって階層区分が分かれることになる。

●パートで働かれる方の保育料は、いわゆる短時間保育として新制度にある。

●その短時間保育の保育料を決定していく。

●パターン①は国の基準どおり。

●パターン②は島原市と雲仙市の通常保育料の平均額に費用負担率 0.905 をかけて算出した額。

●パターン③は南島原市の通常保育料に費用負担率 0.905 をかけて算出。

●通常の保育時間の11時間保育の保育園の運営費を100とした時に、短時間の時の運営

◎一保護者としては、4年生以下の第2子目が半額になるというのはたいへんありがたいと思います。

◎保護者の立場としては、こういう制度が変わって、結局いくら払えばいいのかということが一番気になるところです。こういう風に半額となると、今まで躊躇していたものが、次の子どもという考えになっていくと思う。

◎幼稚園は3歳以上なので、なかなか同時に3人入園というのはなかったんですが、このすこやか支援事業ができて、その対象となったことはたいへん良かったと思います。

◎学童保育について、6年生まで対象になるということですが、最近は高学年が社会体育の

<p>費がその90.5パーセントになることから、その負担割合をかけて算出するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●パターン③は南島原市の通常保育料に費用負担率 0.905 をかけて算出したもの。 ●市としては、パターン③でいきたい。 ●次に幼稚園の保育料 ●パターン①は原則国の基準どおり。 ●パターン②は、国の短時間保育の基準額から平均給食費の4,000円を差し引いたもので、国の基準額を上限として算出。 ●パターン③は、市の短時間保育料（パターン③）から、平均給食費4,000円を差し引いて算出。 ●市としてはパターン③で設定したい。 ●次に、平成27年度以降の保育料軽減策として、国の軽減策では保育園と認定こども園の軽減策に差が生じていることから、市の軽減策はこれを統一して、新たな「すこやか支援 	<p>クラブなどに入らないという子も増えておりますので、そういう対応をしていただくとありがたいと思います。</p> <p>◎幼稚園の保育料は給食費を差し引いているということだが、給食費は別途徴収ということになるのか。</p> <p>◎一時預かりについて少し説明願いたい。</p> <p>◎今の一時預かりの利用料はどうなっていますか。</p>	<p>そうです。</p> <p>一時預かりについては、後日詳細に説明したいと思います。</p> <p>それぞれの園で違います。 一時預かりの要件ですが、美容室とか冠婚葬祭であったり、病院に行くとかの理由で大丈夫です。 しかし、1ヶ月に15日以内ということがあります。 保育園では、時間を延長して預かるのを延長保育といい、それが幼稚園では預かり保育とっておりますが、新制度では、幼稚園の時間延長部分は一時預かりの中に入ってきます。</p>
--	--	--

<p>事業」を検討している。</p> <ul style="list-style-type: none">●その内容は、現在、小学4年生以下を含めて第3子目を無料としているが、これを拡充し、小学4年生以下を含めて第2子目を半額、第3子目を無料というように進めたいと思っております。●参考までに、現在の南島原市における子育て支援の費用を示す。総額として32億3千9百万となっている。	<p>◎このようにサービスが良くなっていけば、保育園や幼稚園の先生などに負担が掛かってくると思いますが、その辺の何かしら手立ては有るのか。そのあたり両方が良くなっていけばいいと感じています。</p>	<p>保育士の処遇改善というのがありますが、国のほうでもなかなか進まないことから、人手不足となっています。全国でも7万人不足といわれています。</p>
---	---	---